

## 「整形外科」後期研修カリキュラム

### 1 研修医の資格について

2年間の卒後初期臨床研修を終了した者とする。

### 2 研修期間について

卒後初期研修を終了後の4年間とし、研修医の希望があれば、徳島大学病院あるいはその関連病院との連携による研修も可能である。

#### . 一般目標

整形外科後期研修は次の4点を満たすことを目標とする。

- 1) 整形外科全般の知識、技術を習得し、患者様の多彩なニーズに対応できる幅広い良識を持ち診断、検査、手術などの診療を行えること。
- 2) 後進の研修医の指導、教育に進んで参加すること。
- 3) 後期研修の終了時、日本整形外科学会専門医の資格を取得すること。
- 4) 日本整形外科学会、各種専門学会に入会、参加し、学術成果を発表し、論文をまとめ、自らの将来の専門分野を選択できること。

#### . 行動目標

##### 1) 整形外科診察

骨、軟骨、関節、神経、筋、腱、脈管などの生理、解剖を理解し、運動器系の診察の基本を習得する。すなわち、四肢の関節可動域、筋力、歩行、知覚・運動神経障害、ADLなどの評価方法を習得し、関節機能評価、神経学的な高位・横位診断ができる。

##### 2) 整形外科的な検査

- (1) 単純X線、CT、MRI、骨・軟部シンチ、エコーなどの目的、読影を習得する。
- (2) 関節造影、脊髄造影、椎間板造影、神経根造影、などの検査手技を習得し読影する。
- (3) EMG、SEP、MEP 術中モニタリングなどの神経電気生理学的検査の意義を理解し、判読する。

##### 3) 治療：病態を把握し、患者様のプロフィールから治療計画を立てることを習得する。

###### (1) 保存的治療

薬物療法、食事療法、生活指導、関節注射、硬膜外注射、神経根ブロック、徒手整復副子固定、ギプス固定、装具療法、直達および介達牽引療法、理学療法、作業療法などの意義と適応を理解し、処方または実施する。

###### (2) 手術療法

運動器疾患および外傷疾患の手術適応を理解し習得する。

創傷処置、清潔操作、止血、駆血、縫合などの基本的な外科処置を習得する。

四肢外傷、骨折、脊椎、関節、手の外科などの手術の準備、器具の用意、術後管理などを習得する。

手術の術者および助手となり指導医の下で手技を習得する。

## ・到達目標

4年間の後期研修では整形外科専門医資格の習得に以下の項目について経験することが臨まれている。

### 1) 経験することが望ましい整形外科的外傷

新鮮開放骨折（創清掃術、皮膚の処置）、脊椎骨折、脊髄損傷、鎖骨骨折、肩関節脱臼、肩鎖関節脱臼、上腕骨近位端骨折、上腕骨骨幹部骨折、上腕骨顆上骨折を含む肘関節部骨折・脱臼、肘内障、前腕骨骨折、手関節部骨折、手指の骨折・脱臼、指関節部靭帯損傷、手の腱損傷、骨盤骨折、股関節脱臼、大腿骨頸部・転子部骨折、大腿骨骨幹部骨折、膝周辺骨折・脱臼・靭帯損傷、下腿骨骨折、足関節部骨折・脱臼、足関節靭帯損傷、踵骨骨折

### 2) 経験することが望ましい整形外科的疾患

脳性麻痺、筋性斜頸、腕神経叢麻痺、変形性脊椎症、脊椎靭帯骨化症、脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、骨粗鬆症、強直性脊椎炎、関節リウマチ、痛風、肩関節周囲炎・五十肩、多・合指症、先天性股関節脱臼、ペルテス病、大腿骨頭すべり症、変形性股関節症、大腿四頭筋拘縮、変形性膝関節症、膝蓋骨（亜）脱臼、先天性偽関節、先天性内反足、外反母趾、骨髄炎・関節炎、軟部腫瘍、骨原発性腫瘍、骨転移性腫瘍

### 3) 主治医として経験することが望ましい手術

椎弓切除術、脊椎固定術、腰椎椎間板ヘルニア手術、尺骨神経前方移行術、手根管開放術、de Quervain 腱鞘炎手術、ばね指手術、股関節人工骨頭置換術、人工股関節・膝関節置換術、半月切除術・縫合術、靭帯再建術、肢・指切断術、新鮮開放創手術、主な骨折の観血的整復・固定術（骨接合術）、関節形成術、骨切り術、骨移植術、関節鏡視下手術、植皮術、腱縫合・剥離・移植術、切腱術、腱延長術、神経縫合・剥離・移植術、血管吻合術、骨髄炎手術、軟部腫瘍摘出術

### 4) 経験することが望ましい検査

筋電図、関節造影、脊髄造影、血管造影、椎間板造影、椎間関節造影、超音波、関節鏡

## ・診療科の特徴

徳島市の中核病院として、関節・脊椎疾患、手の外科を中心とし、救急外傷まで幅広い分

野の整形外科疾患について5名の常勤の整形外科専門医により診療しています。

平成18年度の総手術件数は728例でした。その主な内訳は、関節手術210例、脊椎手術142例、手の外科手術128例、骨折手術159例などでした。

関節手術の中では、人工関節が149例（人工股関節57例、人工膝関節92例）、関節鏡下手術が42例でした。股関節では高度の脱臼例や強直例、再置換術、膝関節では高度の変形膝の手術も積極的に行っています。

脊椎手術では、椎弓切除術・形成術、脊椎固定術、脊髄腫瘍などを行っており、頸椎が39例、胸椎が5例、腰椎が98例であり、内視鏡下の腰椎椎間板ヘルニア手術は21例でした。手の外科手術では、手指の骨折、脱臼、腱断裂、先天奇形、切断指の再接着などを行っています。徳島市民病院整形外科の特徴は、関節、脊椎、手の外科の多くの症例が経験でき、専門医の指導のもと体系だった臨床研修が行えます。また、学会発表、論文発表の十分な機会が得られます。

#### ・施設認定

日本整形外科学会認定病院  
日本整形外科学会教育研修病院  
日本脊椎脊髄病学会認定病院

#### ・取得可能な認定医、専門医

日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本整形外科学会スポーツ専門医、日本整形外科学会リウマチ専門医  
日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医、内視鏡医

#### ・整形外科週間スケジュール

抄読会：月・火・水・木曜日の午前8時～ 最近の論文やトピックス、学会報告  
手術症例カンファレンス：金曜日の午前8時～  
専門外来：手の外科 水曜日、脊椎外科 水・金曜日、関節外科 木曜日  
手術日：月・水・金曜日 関節外科手術、火・木曜日 脊椎外科手術  
月曜日 手の外科日帰り手術